

令和4年度 発注者別工事採算性に関するアンケート結果

○調査対象工事

北陸地方整備局、富山県及び県内市町村発注工事の内、請負金額2,500万円以上(建築は3,000万円以上)でかつ、令和4年4月1日～令和5年3月31日までに完成し採算が把握できる工事。

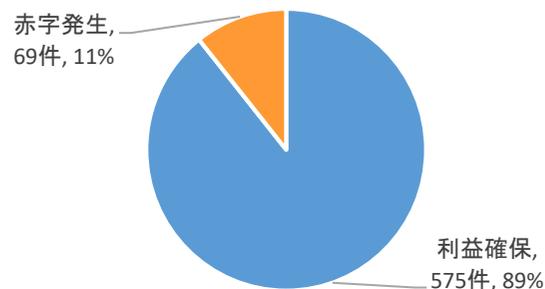
※採算性には本社経費を含めたもの

○対象企業 会員企業のうち県ランク土木A等級または、建築A等級 150社

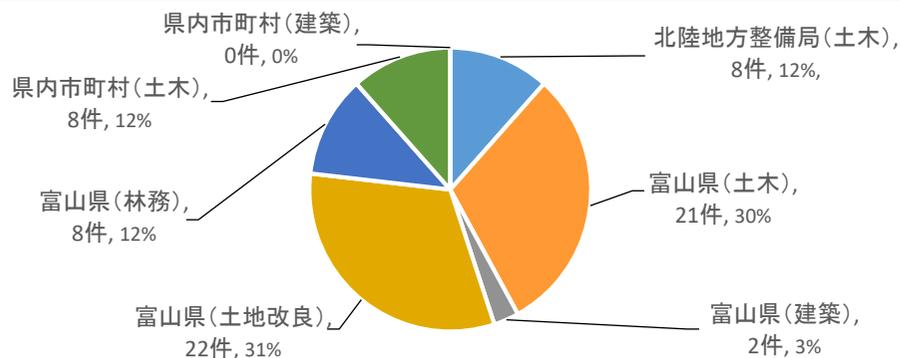
○回答企業数 121社 回答率 80.7%

○調査期間 令和5年6月1日～6月26日

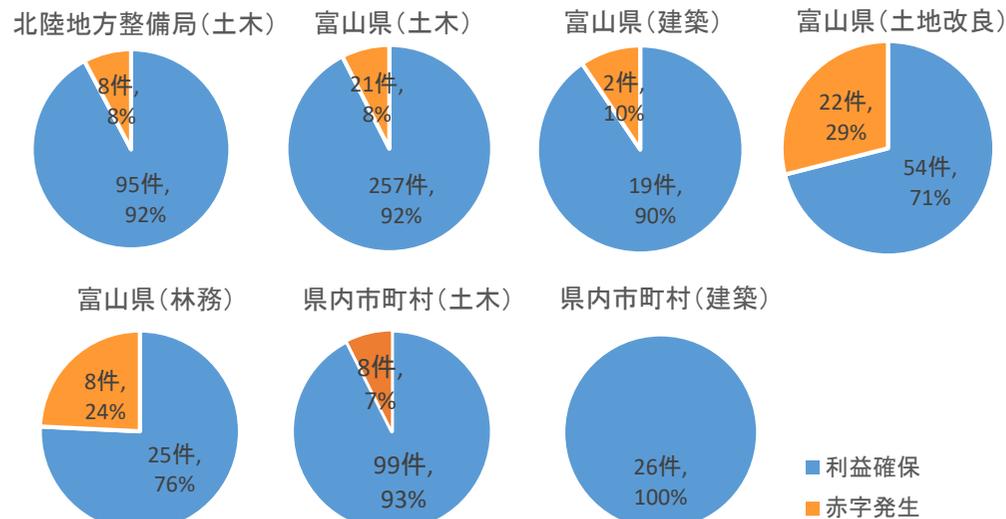
①調査対象工事の状況(644件、115社)



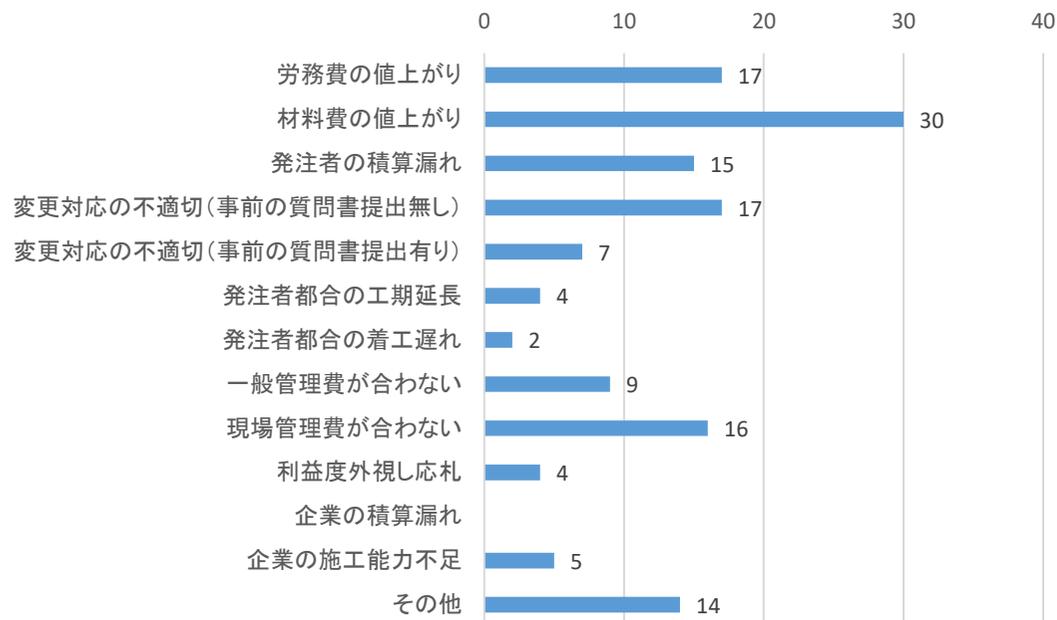
②赤字工事の内訳(69件、45社)



③発注者別の採算状況(644件、115社)

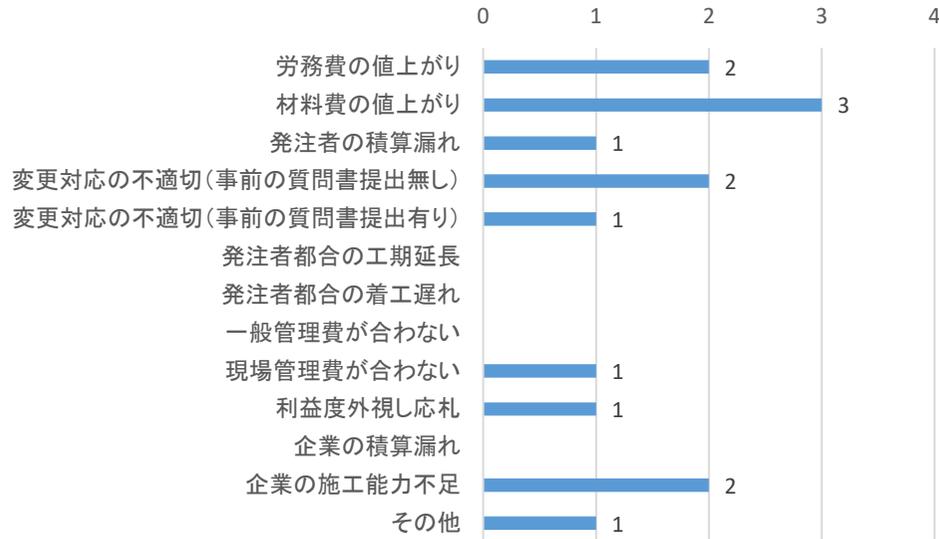


④赤字工事の主な発生理由(3つまで回答可)

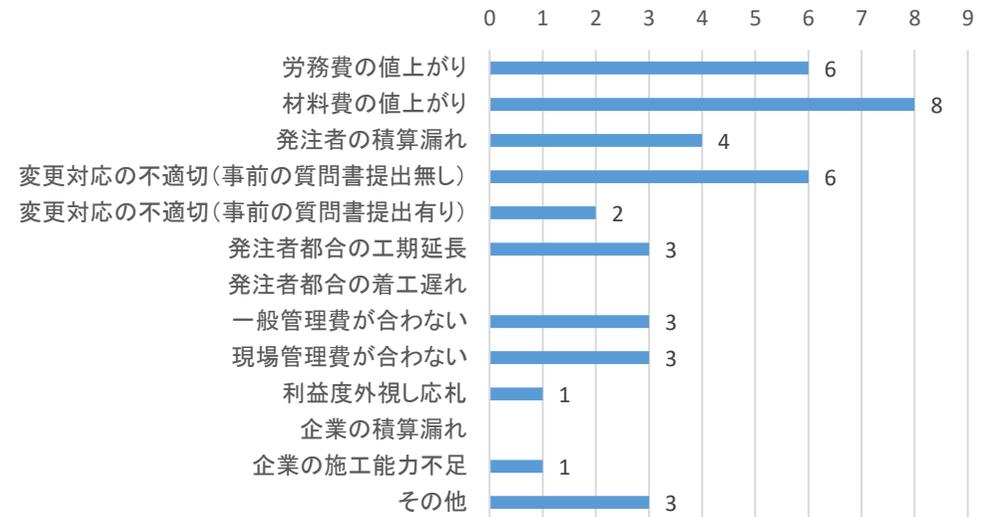


令和4年度 発注者別赤字工事の主な発生理由(3つまで回答可)

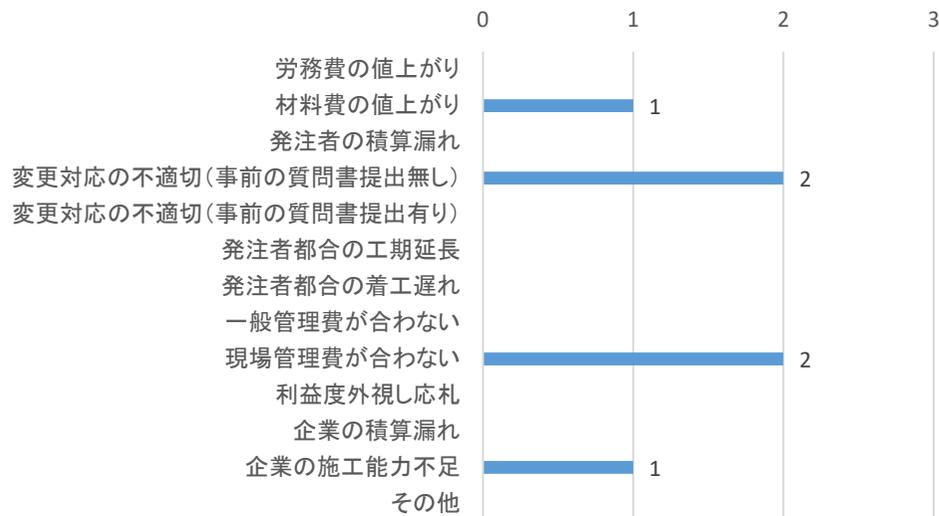
北陸地方整備局(土木) 利益確保95件(92%) 赤字発生8件(8%)



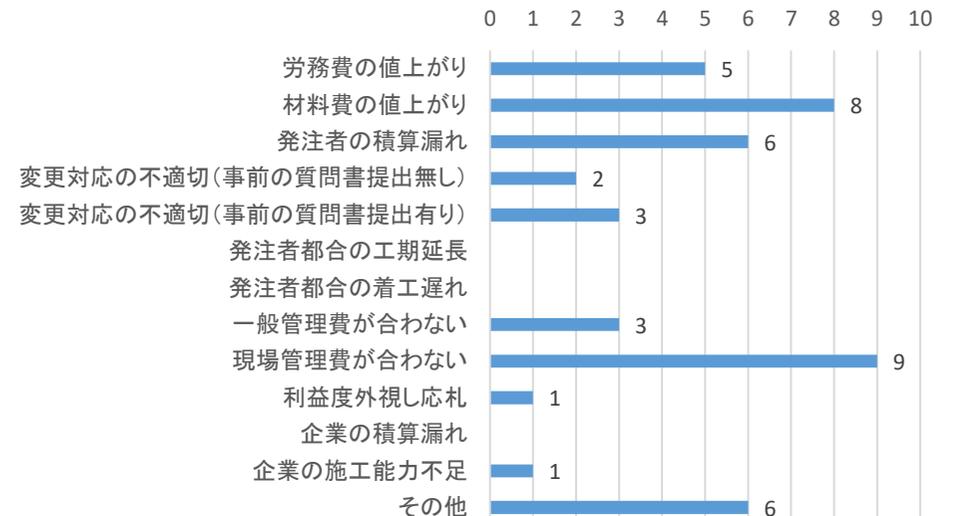
富山県(土木) 利益確保257件(92%) 赤字発生21件(8%)



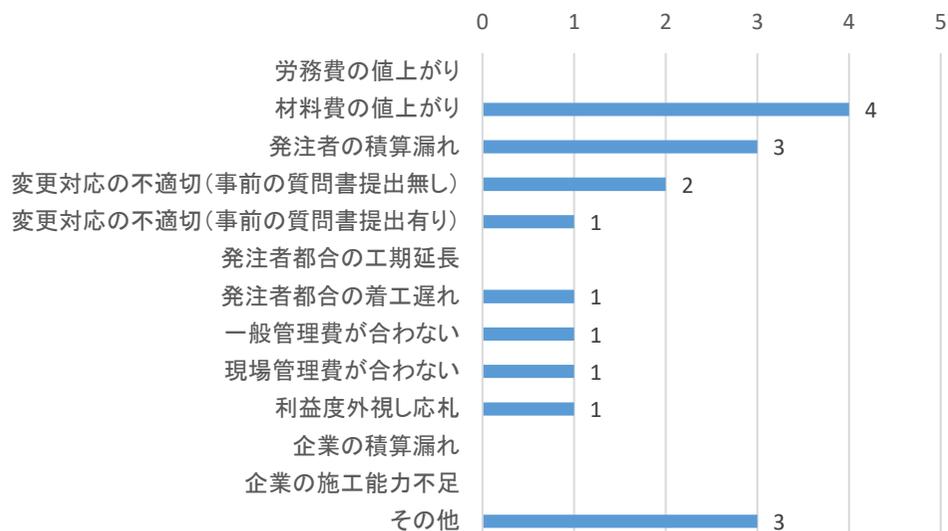
富山県(建築) 利益確保19件(90%) 赤字発生2件(10%)



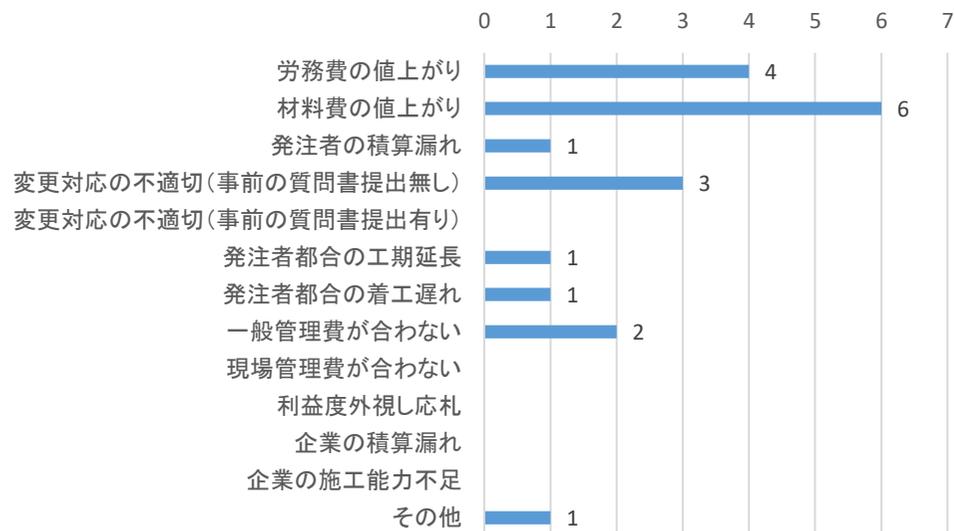
富山県(土地改良) 利益確保54件(71%) 赤字発生22件(29%)



富山県(林務) 利益確保25件(76%) 赤字発生8件(24%)



県内市町村(土木) 利益確保99件(93%) 赤字発生8件(7%)



県内市町村(建築) 利益確保26件(100%) 赤字発生0件(0%)

赤字工事の主な発生理由(その他)

【富山県(土木)】

- ・担当立会等に時間を要したため、下請業者の手待ち並びに作業中止等により別途支払いが発生した。
- ・河川工事で工期の制約があり、短期間で施工をせざるを得なかった。
- ・県、市ともに特殊工事が含まれたため、外注先から求められる費用が高んだ。

【富山県(土地改良)】

- ・落札後、地元の土地改良区と打ち合わせしたところ、用水の設置高さが現場に合わない、との事で、全路線を再測量し、用水高さを再設定し直した。
- ・本工事は2路線あり、1つは夏施工出来るが、もう1つは稲刈りが終わってからの秋冬施工であり、4000万円程度の金額で現場管理者も8~9か月担当させられたり、弊社都合だが、他現場との兼ね合いで作業員の調整がつかず、大きなロスとなる。結局、1人の現場監督がそれ1件で1年が終わってしまった。
- ・材料の製作に日数がかかり、冬を越したことから経費が高んだ。
- ・資材の設計単価が購入単価と合わない物があり、また歩掛も冬場の施工期間が長い為、実勢と合わない。
- ・中山間地域での水路整備においては、現場条件に当てはまる積算条件がないため仮設工や土工について区分して計上してあったが、現場の状況には合致しておらず、新たな積算条件の構築あるいは、見積もりによる計上が必要となった。
- ・施工箇所が複数に分散しているため、施工歩掛及び経費が合わない。
- ・設計と現場が乖離しており、図面等の設計資料を全て施工者が作成することになり、それにかかる費用を全く計上してもらえなかった。施工箇所に障害物(転落防止柵)があり、歩掛りが合わない。

【富山県(林務)】

- ・天候不順、歩掛条件と現場条件の不一致。設計金額と市場取引金額(下請けやリース品)の乖離。
- ・台風により、土捨て場法面が崩壊し、擁壁、重機が埋もれ、その対処により現場が中止状態になった。
- ・発注者側の設計や変更対応は適切だったが、現地照査に費用がかかりすぎたり、工種が多岐にわたっており、1工種当たりの数量も少ないため、そもそもの設計歩掛で対応できない。
- ・仮設工で鉄板枚数がかかり増えたが、金額が増えすぎるとの理由で、半分の数量しか計上されなかった。
- ・現場までの道路状況が悪く、パンクなどの経費がかさむ事や遠方の為運搬費が高い。また、道路修繕費用が高くなるがボランティアになっている。

発注者別工事採算性に関するアンケート結果（令和3年度と令和4年度の比較）

①調査対象工事の状況（令和3年度 662件 104社、令和4年度 644件 115社）

調査対象工事

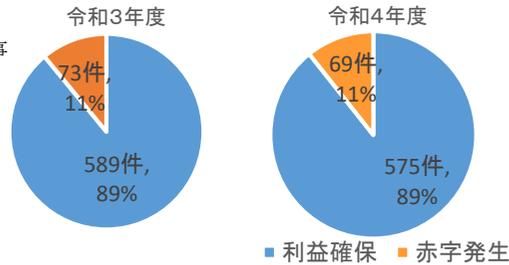
・北陸地方整備局、富山県及び県内市町村発注工事のうち、請負金額2,500万以上（建築3,000万円以上）

<令和3年度対象工事期間>

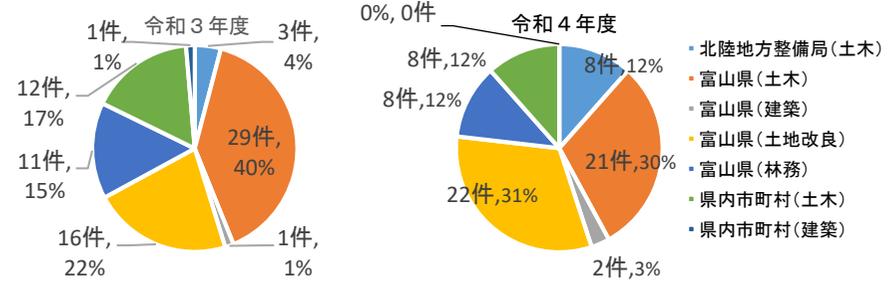
令和3年4月1日～令和4年3月31日

<令和4年度対象工事期間>

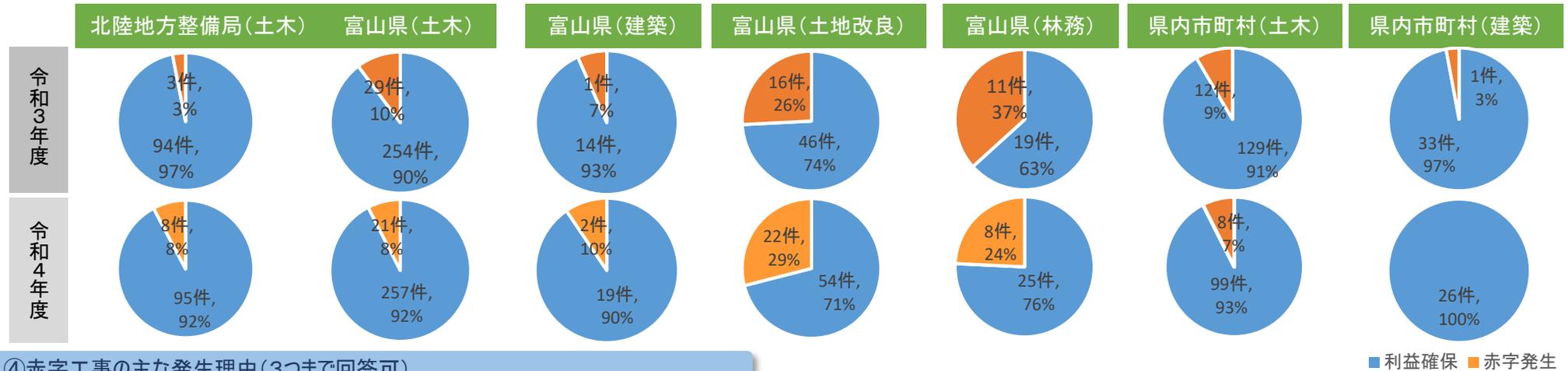
令和4年4月1日～令和5年3月31日



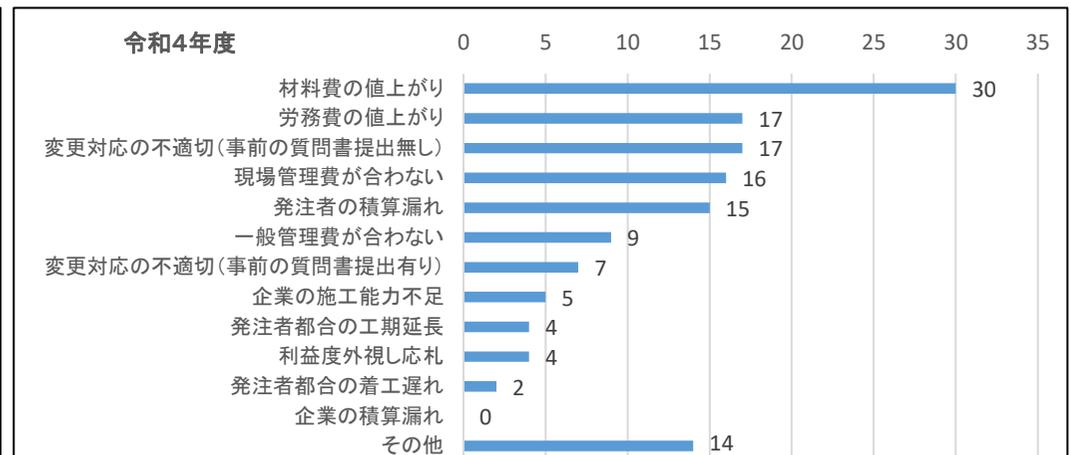
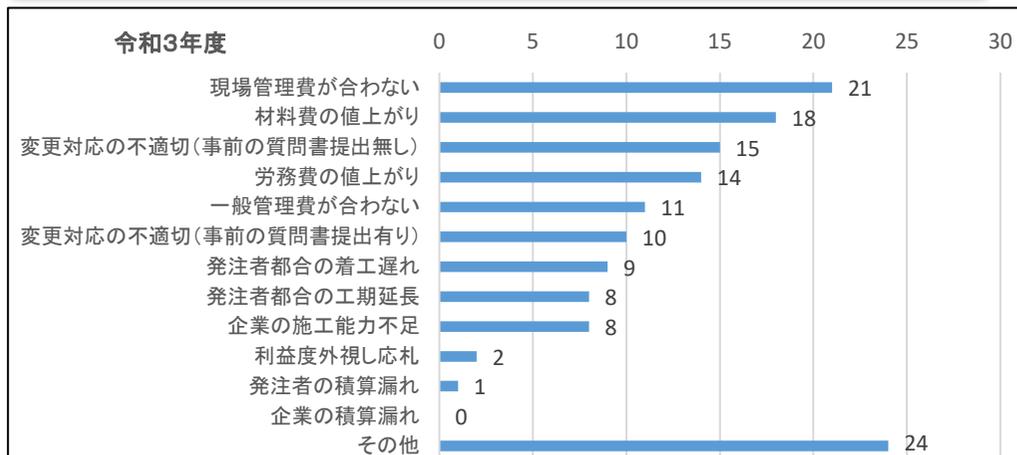
②赤字工事の内訳（令和3年度 73件 43社、令和4年度 69件 45社）



③発注者別の採算状況

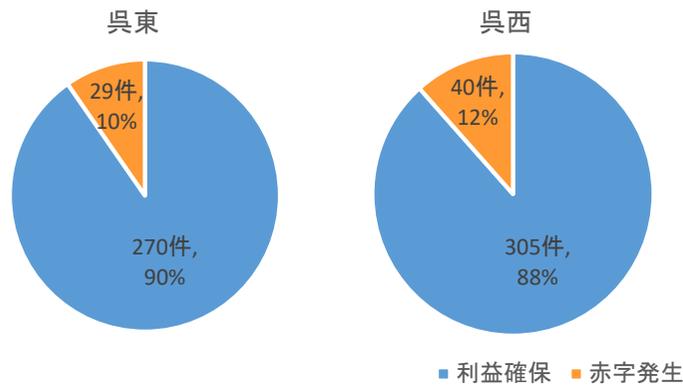


④赤字工事の主な発生理由（3つまで回答可）

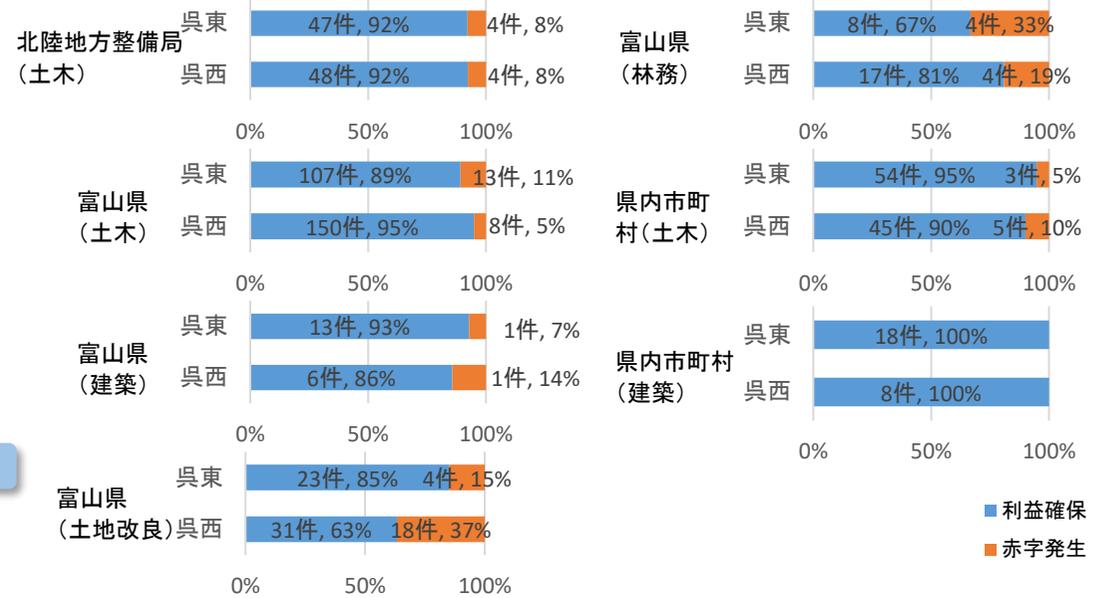


令和4年度 発注者別工事採算性に関するアンケート結果(呉東呉西の比較)

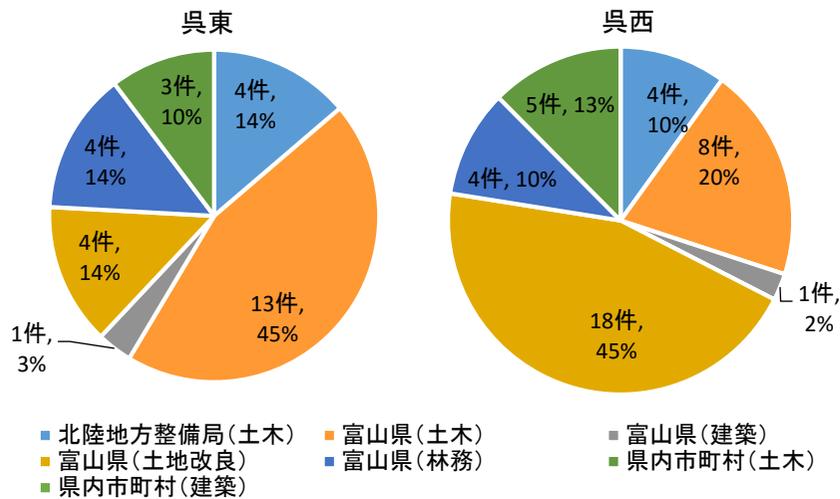
①調査対象工事の状況(呉東 299件、55社, 呉西 345件、60社)



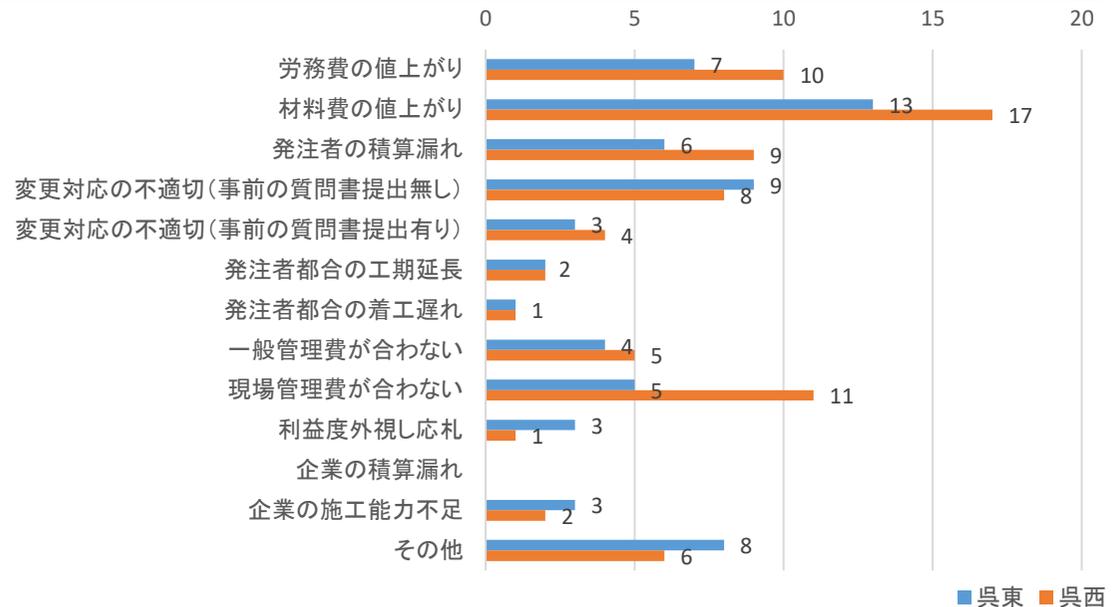
③発注者別の採算状況(644件、115社)



②赤字工事の内訳(呉東 29件、19社, 呉西 40件、26社)

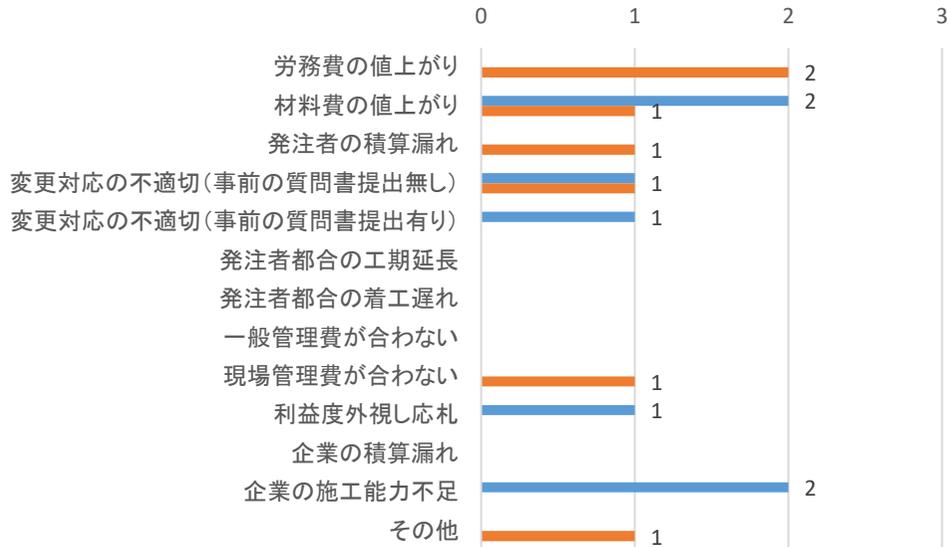


④赤字工事の主な発生理由(3つまで回答可)

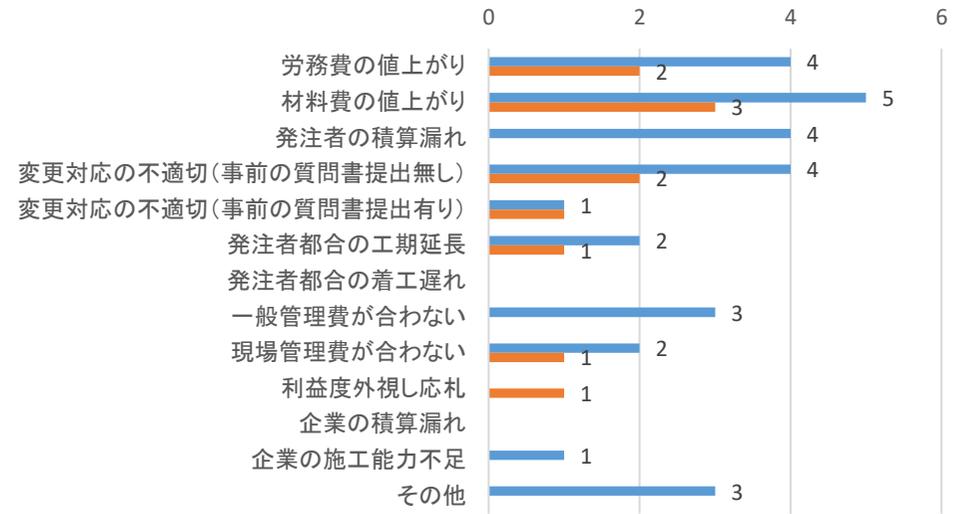


令和4年度 発注者別赤字工事の主な発生理由(3つまで回答可)(呉東呉西の比較)

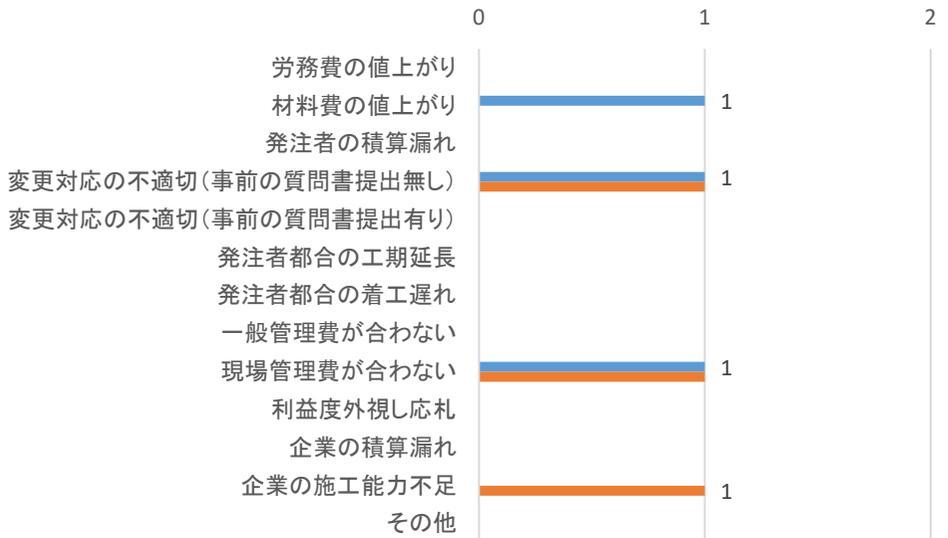
北陸地方整備局(土木) 赤字発生 呉東 4件、呉西 4件



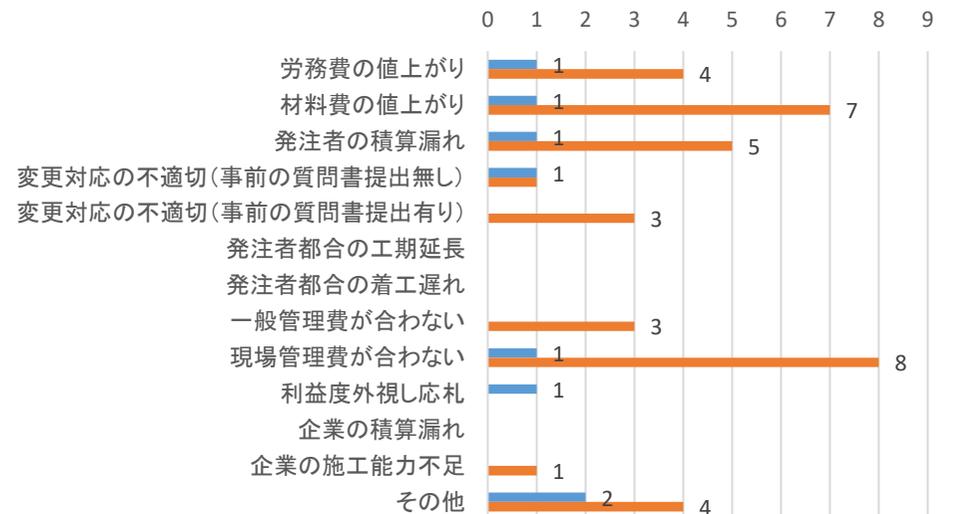
富山県(土木) 赤字発生 呉東 13件、呉西 8件



富山県(建築) 赤字発生 呉東 1件、呉西 1件

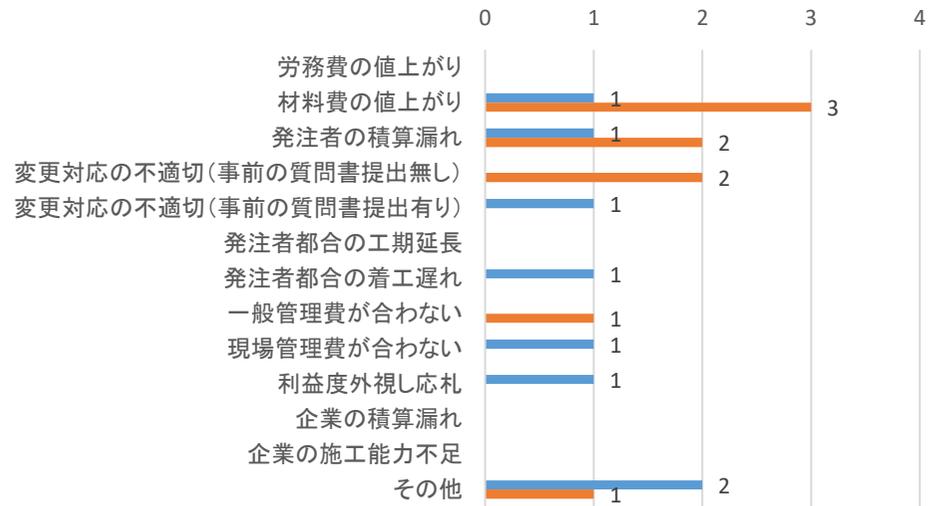


富山県(土地改良) 赤字発生 呉東 4件、呉西 18件

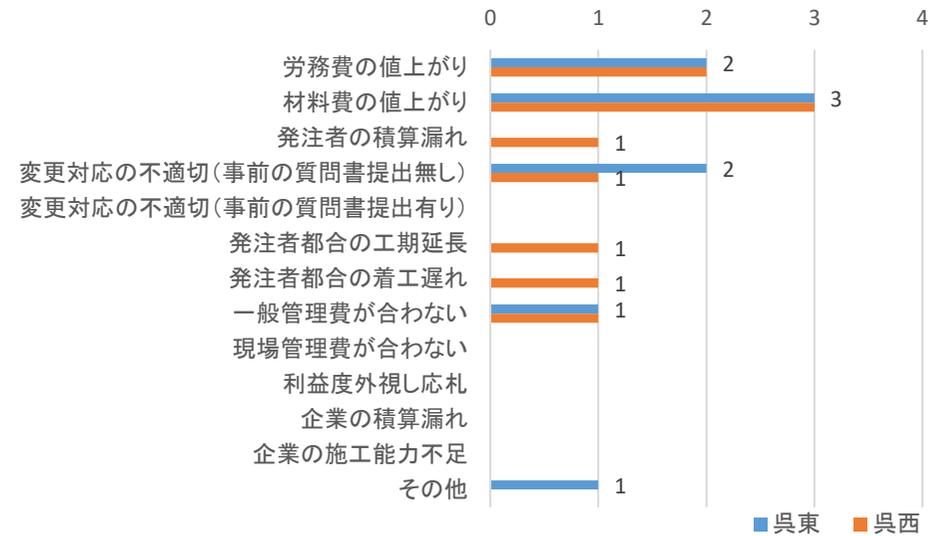


■ 呉東 ■ 呉西

富山県(林務) 赤字発生 呉東 4件、呉西 4件



県内市町村(土木) 赤字発生 呉東 3件、呉西 5件

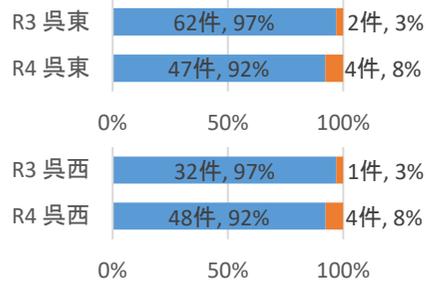


県内市町村(建築) 赤字発生 呉東 0件、呉西 0件

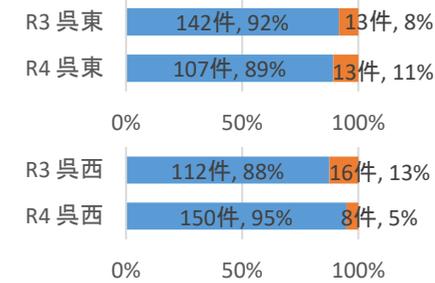
発注者別工事採算性に関するアンケート結果（令和3年度と令和4年度の呉東呉西比較）

①発注者別の採算状況

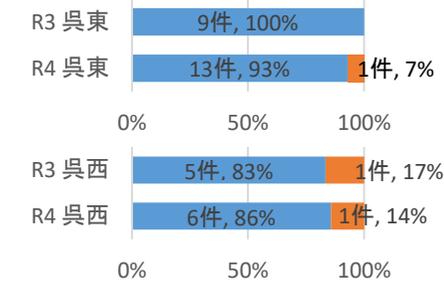
北陸地方整備局(土木)



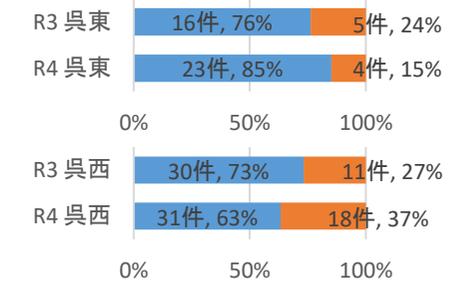
富山県(土木)



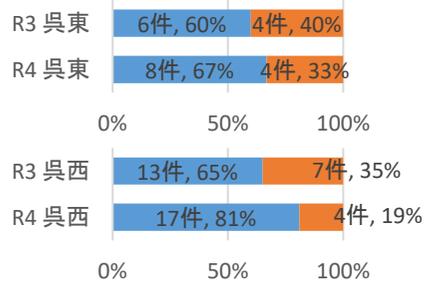
富山県(建築)



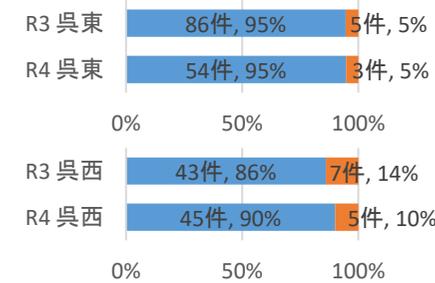
富山県(土地改良)



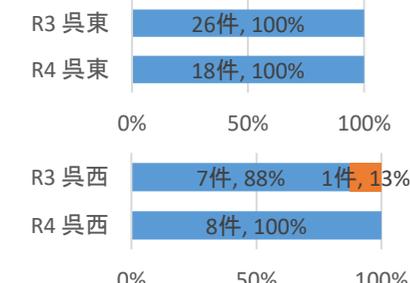
富山県(林務)



県内市町村(土木)



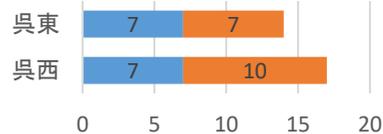
県内市町村(建築)



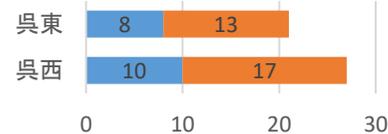
■ 利益確保
■ 赤字発生

②赤字工事の主な発生理由(3つまで回答可)

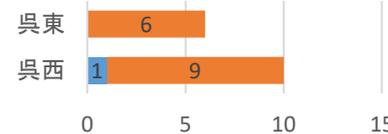
労務費の値上がり



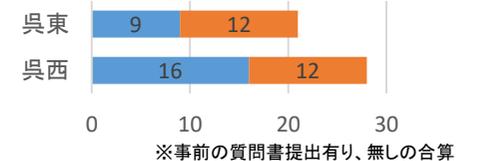
材料費の値上がり



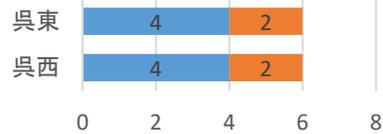
発注者の積算漏れ



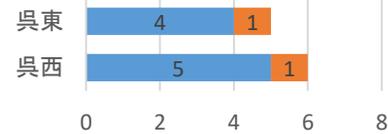
変更対応の不適切



発注者都合の工期延長



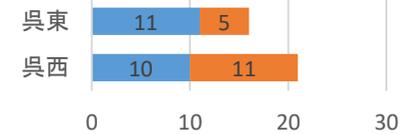
発注者都合の着工遅れ



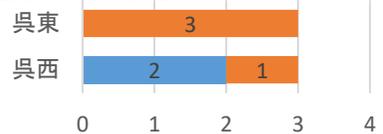
一般管理費が合わない



現場管理費が合わない



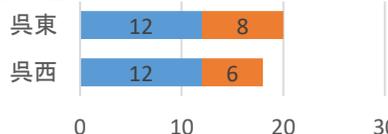
利益度外視し応札



企業の施工能力不足



その他



■ R3 ■ R4